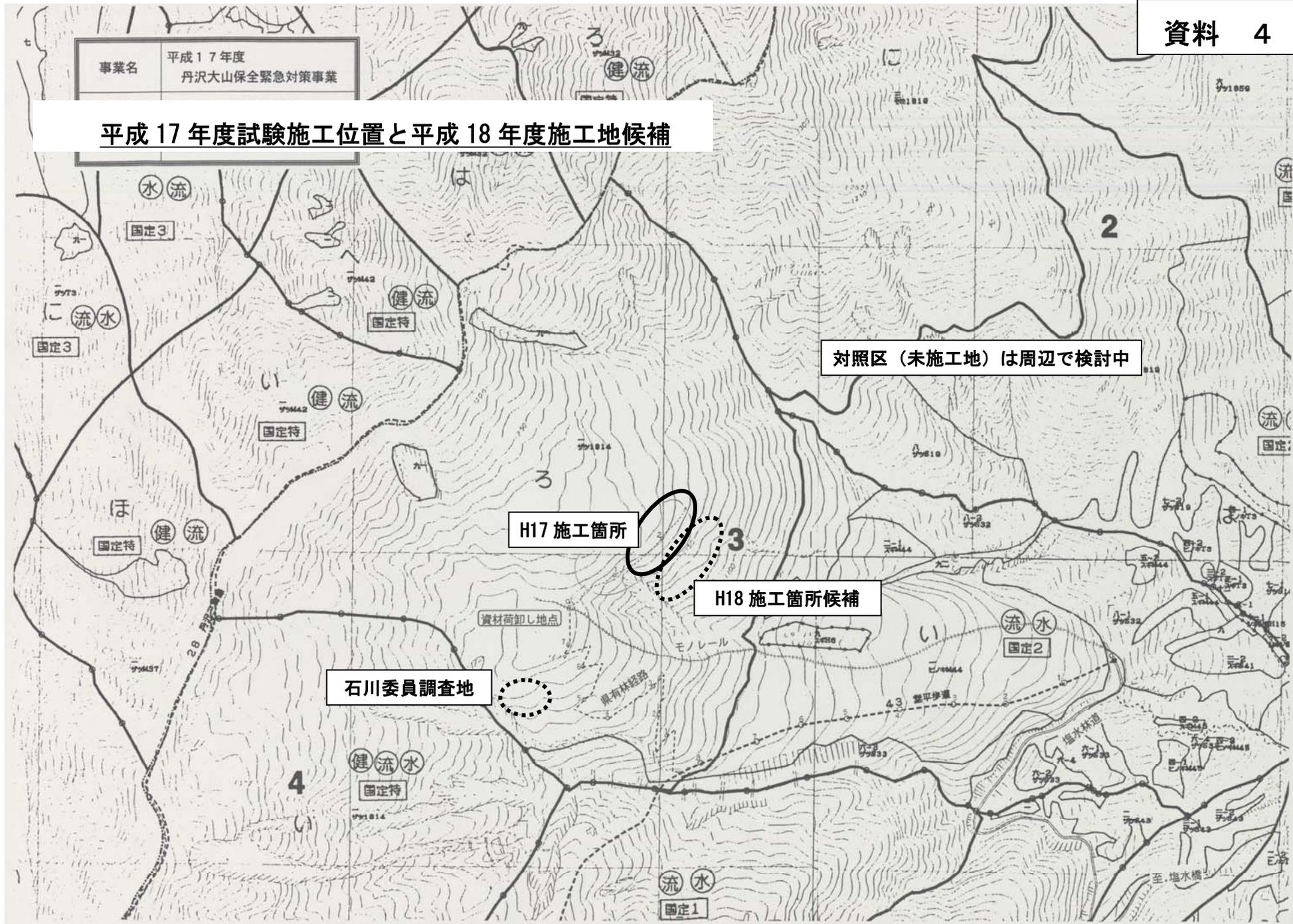


平成17年度試験施工位置と平成18年度施工地候補

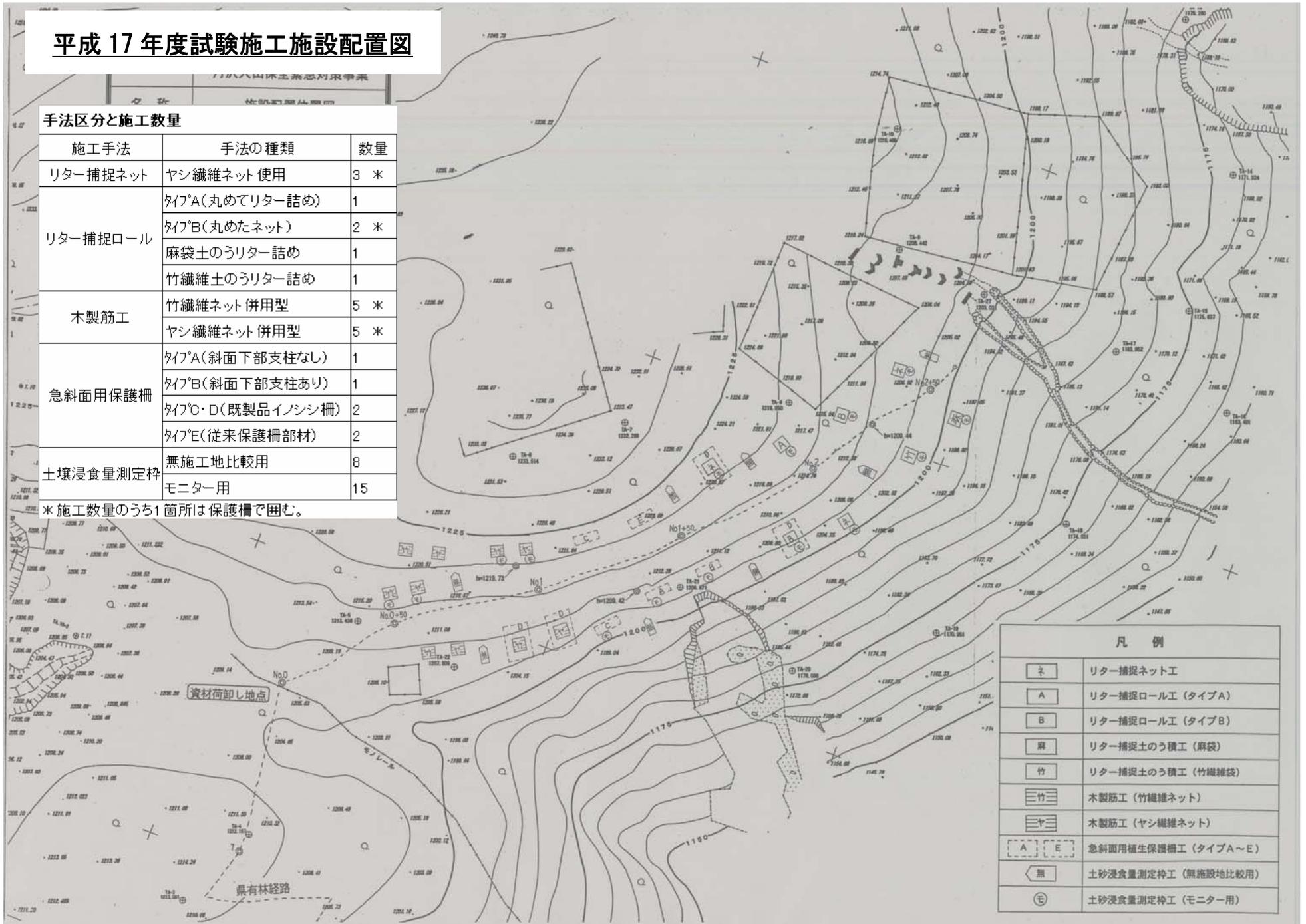


# 平成 17 年度試験施工施設配置図

## 手法区分と施工数量

施工手法	手法の種類	数量
リター捕捉ネット	ヤシ繊維ネット 使用	3 *
リター捕捉ロール	タイプA(丸めてリター詰め)	1
	タイプB(丸めたネット)	2 *
	麻袋土のうリター詰め	1
	竹繊維土のうリター詰め	1
木製筋工	竹繊維ネット 併用型	5 *
	ヤシ繊維ネット 併用型	5 *
急斜面用保護柵	タイプA(斜面下部支柱なし)	1
	タイプB(斜面下部支柱あり)	1
	タイプC・D(既製品イノシシ柵)	2
	タイプE(従来保護柵部材)	2
土砂浸食量測定枠	無施工地比較用	8
	モニター用	15

\* 施工数量のうち1箇所は保護柵で囲む。



ネ	リター捕捉ネット工
A	リター捕捉ロール工 (タイプA)
B	リター捕捉ロール工 (タイプB)
麻	リター捕捉土のう積工 (麻袋)
竹	リター捕捉土のう積工 (竹繊維袋)
≡竹	木製筋工 (竹繊維ネット)
≡ヤ	木製筋工 (ヤシ繊維ネット)
A E	急斜面用植生保護柵工 (タイプA~E)
無	土砂浸食量測定枠工 (無施設地比較用)
Ⓜ	土砂浸食量測定枠工 (モニター用)